

協働による地域づくりに関する指針（改定素案）に対する意見及び意見に対する考え方

No.	該当 ページ	該当項目	意見	意見に対する考え方	修正の 有無	修正前	修正後
1	6	第2章 地域社会を取り巻く現状 1 地域を取り巻く環境の変化 少子高齢化、人口減少、若者の流出	本件の人口将来予測で2040年には1,673千人に減少し、高齢化率37.5%に上昇と見込まれているが、もっと減少し、高齢化率37%より上昇するよう思われますがどうでしょうか。誤ると将来の展望が違ってくるので極めて重要と考えます。	見込みの数値は、国立社会保障・人口問題研究所が公表している数値を採用しており、この数値は、国の社会保障制度の中・長期計画及び各種施策立案の基礎資料として使用されているものです。いただいた事項に関しては、ご意見として承りました。	無	—	—
2	6	第2章 地域社会を取り巻く現状 1 地域を取り巻く環境の変化 家族構成の変化と社会的孤立	私も民生児童委員をやっていて特に感ずるのは単身高齢者の社会的孤立がかなり深刻化すると予想されます。早急により真剣に対策を考えるべきです。	ご意見のとおり、単身高齢者の社会的孤立は地域課題・社会課題の一つです。これらの課題解決の一助となることを目指して、本指針を改定します。	無	—	—
3	18	第5章 協働に関わる主体の現状と課題、 期待される役割 1 NPO法人 現状と課題	活動メンバーの高齢化による後継者不足・世代交代が緊急の課題です。対策を急ぐべきです。	ご意見のとおり、活動メンバーの高齢化による後継者不足・世代交代はNPO法人の課題の一つです。これらの解決のために県では、若い世代が社会貢献活動に関心を持つように促す様々な取組を行っています。引き続き、これらの施策に取り組んでまいります。	無	—	—